

鬼怒テクノ通り希少動植物種モニタリング検討会

第6回 議事録要旨 その2

-
1. 日 時: 平成15年11月14日(月) 9:30 ~ 12:00
2. 場 所: 栃木県庁 河内庁舎 401号会議室
栃木県宇都宮市竹林町 1030-2
3. 検討内容:
1. オオタカ調査結果
 2. サシバ調査結果
 3. 貴重植物調査
 4. 工事計画
 5. 今後の調査計画
4. 議事要旨:
1. オオタカ調査結果
 - 今年の調査結果から、北個体の行動範囲は概ね把握できたと考えられる。道路工事が北営巣木の個体に与える影響は軽微であると考えられる。
 - 過去の南個体の調査は平成11年のみであり、今年の調査結果を含めても特に路線方向への行動の有無について判断することはできない。道路工事が南個体に与える影響は不明である。
 - 平成10、11年の古巣は今後も使用する可能性があるため、現在どのような状態か確認しておく必要がある。
 2. サシバ調査結果
 - C地区の調査は移動定点であり調査回数が少ないため、今年の調査結果だけで利用頻度の低い箇所とは言い難い。
 - サシバの場合行動圏が小さいため、道路工事が与える影響を判断するためには営巣木を特定することが重要となる。営巣木が路線より離れていると考えられても、その特定はすべきである。
 3. 貴重植物調査
 - 保全対象の判断記号の意味を明確にすべきである。
 - 保全対象の判断基準が曖昧であり、再度整理すべきである。
 4. 工事計画
 - 橋梁部から県道交差部までの区間については、南個体の行動が不明である。オオタカへの影響が評価できた後に工事工程をずらして欲しい。
 - 土工区間のうち、南側の県道交差部に近い方は予定通り工事を行っても良いと考える。

5. 今後の調査計画

< オオタカ調査 >

- 北個体については繁殖活動を確認するだけで良いと考える。
- 北個体の北にはオオタカが営巢していることがわかっている。その個体との関係を把握する調査が必要だと考える。
- 南個体については繁殖活動の他に定点を増やすなど、今年不明であった部分の把握に努めるべきである。

< 貴重植物調査 >

- C地区の谷津田においては、道路工事による濁水の流出が考えられるため、調査範囲を広げるべきである。地元有識者と相談してもらいたい。
- 貴重植物の保全対策後の管理については、費用や労力の面から地元ボランティアでは対応に窮する。行政が主体となって行っていくべきである。